

令和6年第1回木津川市議会定例会

代表質問通告書（2月27日）

1	自民党木津川 山本 和延
質問事項： 主要施策「ともに学び喜び成長し未来を生きるこどもを育むまちづくり」を問う	
質問 要 旨	<p>去る1月1日の能登半島地震で亡くなられた方のご冥福をお祈りし、被災された皆様にお見舞い申し上げます。また、1日も早い復旧・復興をお祈りいたします。</p> <p>令和2年1月15日、国内で初めて新型コロナウイルス感染症の報告があり、約4年間のコロナ禍のなか、昨年5月8日にコロナ感染症が2類から5類に移行し、ようやく状況が落ち着いたものの、4年2月24日にロシアによるウクライナ侵略、5年10月7日にイスラム原理主義組織ハマスによるイスラエル武力侵攻など、社会の歴史的な転換期を迎えています。</p> <p>本市においては、災害の激甚化・頻発化や、コロナ禍、物価高騰等により、市民の日常生活に今も影響が及んでいます。</p> <p>さて、令和6年度予算は、谷口市長として初めての本格予算の提案であり、市政運営の方向を示すものと考えます。一般会計予算が330億3,100万円で過去2番目の規模であり、基金繰入による予算編成で厳しい財政運営であることを踏まえた中、市民の皆様が安心して生活が送れる良い施策の提案であると期待するものです。</p> <p>(1) 教育・保育環境の整備について、4月から公立保育所2園を幼保連携型認定こども園に移行されます。これは公立保育園民営化等実施計画に沿っていますが、子育て世代の教育・保育ニーズが年々変化しています。この計画の推進には、多様化するこれらの変化に対して柔軟な対応・見直しが必要と考えますが、ご意見をお聞きます。</p> <p>(2) こどもの遊び場について、遊具を活用した「遊び」を通してこどもたちの健やかな成長と、こどもやパパママの交流を育む場の創出とありますが、その内容は。また、昨年開催された子育てイベント「PLAYFULL PARK」が活況でありましたが、継続開催はあるか、お聞きます。</p> <p>(3) こどもに関する相談窓口について、4月から「こども家庭センター」を設置されますが、こどものあらゆる相談窓口として、こども家庭庁の支援部門で児童虐待やいじめ問題の対処とあり、国との連携はあるのか。また、総合調整部門がデジタル庁などと連携してこどもの家庭の状況や支援内容に関するデータベースを共有するとあるが、本市も共有されるのかお聞きます。</p> <p>(4) 学校教育の環境の充実について、良好な学校環境づくりとして夏場の猛暑における熱中症対策、発災時の避難所となる全中学校体育館に空調を整備されますが、その内容は。また、財政の厳しい中、緊急防災・減災事業債の活用が可能なのか、お聞きます。</p> <p>(5) 学力の向上について、ICT教育を充実させながらクラウド型授業支援アプリ「ロイロノート・スクール」の本格導入や、中学校での「eライブラリアドバンス」の導入により、学習進度に応じた学習支援に取り組むとあるが、内容をお聞きます。</p>
質問事項： 主要施策「誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり」を問う	
質問 要 旨	<p>1 こどもから高齢者までの健康づくりや、必要な時に医療や福祉サービスが受けられる体制づくりについて、4月に児童発達支援センターを創設し障がい児やその保護者への支援体制を強化、障がい者福祉タクシー等利用券交付事業で2千円分のガソリン購入が併用利用できる制度に改善等、その内容をお聞きます。</p> <p>2 国民健康保険について、一人当たりの保険給付費が増加するなど厳しい財政状況の中、財政調整基金を活用し保険料率を据え置くとあるが、その内容をお聞きます。</p> <p>3 介護保険について、高齢者人口の増加に伴い、要支援要介護の増加や保険給付費の増加傾向の中、介護給付費準備基金を活用し、今後3年間、保険料基準額を据え置くとあるが、内容をお聞きます。</p>

質問事項： 主要施策「人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり」を問う	
質問要旨	<p>1 学研都市と連携して、「大阪・関西万博きょうとアクションプラン」に木津川アートを提案し、「アート×企業」により本市の魅力を発信するとあるが、その内容をお聞きます。</p> <p>2 農業施策について、多様な担い手の確保・育成を図り、持続可能な農業と効率的な農業経営の実現とあるが、取り組みをお聞きます。</p> <p>3 市内商工業について、市内に立地の企業への支援の、事業場設置助成金、雇用創出助成金及び操業支援助成金の内容をお聞きます。</p>
質問事項： 主要施策「災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくり」を問う	
質問要旨	<p>能登半島地震を受けた緊急対策に加えて、市民の生命や財産を守り、災害に強い都市基盤の整備、危機管理体制の強化、地域の防災・防犯体制を充実することで、安心安全なまちづくりを進めるとともに、自らの命を守るための参考となる「木津川市総合防災マップ」を更新するとあるが、その内容をお聞きます。</p>
質問事項： 主要施策「快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり」を問う	
質問要旨	<p>1 交通の利便性や持続可能な都市環境を整備し、快適で住みよい生活環境の形成について、国道24号城陽井手木津川バイパスは、住民の命を守る防災道路として国道24号の重要な代替ルートであり、バイパス沿線の新たなまちづくりとなります。その進捗状況をお聞きます。</p> <p>2 上下水道事業について、市民生活や経済活動に欠かせないライフラインであり、老朽化する管路や施設の更新内容をお聞きます。</p> <p>3 過疎地域に指定された加茂地域の課題について、「地域おこし協力隊」2名を募集するほか、加茂地域を大学のフィールド活動の場として課題把握・解決に向けた検討や取組の内容をお聞きます。</p>
質問事項： 主要施策「効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり」を問う	
質問要旨	<p>1 木津川市デジタル田園都市構想総合戦略の基本目標「誰もが便利で快適に暮らせるデジタル基盤」を整備し、3年度に導入した「書かない窓口」の庁内での横展開を行うとともに「行かない窓口」を実現するとあるが、その内容をお聞きます。</p> <p>2 持続可能な財政基盤の確保を目的とするふるさと納税について、返礼品の内容や品質の向上、寄附の使い道の明確化、寄附者の利便性の向上を進め、寄附による税収減と増収の均衡を目指すとあるが、その内容をお聞きます。</p>
質問事項： 副市長2人制を問う	
質問要旨	<p>行政課題が多くある中、副市長2人体制により速やかに課題解決を図るとあるが、長期にわたり検討が必要であると考えます。ご意見をお聞きます。</p>

2 日本維新の会 谷川 光男	
質問事項： 施政方針の具体的な取組を問う	
質問要旨	<p>令和6年度第2次木津川市総合計画後期基本計画のスタートの年にあたり、7つの基本方針に基づく施策が明らかにされました。</p> <p>そして、「子どもや若者が将来に向けて希望を持てるまちづくり」「すべての方が住み慣れた地域で暮らせるまちづくり」という2つのビジョンの実現に向けその取組が示されました。その内容についてお尋ねします。</p> <p>(1) とともに「学び」「喜び」「成長し」未来を生きるこどもを育むまちづくりについて</p> <p>① こどもや保護者などの交流を育む場の創出とは何か。</p> <p>② 災害避難所を兼ねる中学校体育館に空調設備する計画内容は。</p> <p>③ 家庭と連携を密にし、児童生徒の発達に応じた学習習慣の定着を目指すとは、具体的に。</p>

質問 要 旨	<p>(2) 誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくりについて</p> <p>① 市役所窓口で窓口字幕表示システムの概要及び予算は。</p> <p>② 京都府と連携し、新たに精神障害者（児）を対象とした福祉医療費の助成の取組内容は。</p> <p>③ 4月から設置される福祉総合相談室の体制と内容は。</p> <p>(3) 一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくりについて</p> <p>① 木津人権センターと木津児童館が一体化して複合施設に整備されるが規模・予算は。</p> <p>(4) 人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくりについて</p> <p>① 農業施策について、農産物のブランド化・他産業との連携強化を推進する取組内容は何か。</p> <p>② 商工業について、市内に立地した企業への事業場設置助成金等の支援について令和5年度の実績と令和6年度の見込みは。</p> <p>(5) 災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくりについて</p> <p>① 中学生を対象としたジュニア防災リーダーの育成人数と実施時期は。</p> <p>② 木津川市総合防災マップの更新内容と地域別のハザードマップの全戸配布は、今回初めてなのか。</p> <p>③ 防犯カメラの増設、交通安全施設の整備箇所数と場所は。</p> <p>(6) 快適で住みよい生活環境と豊かな自然に恵まれたまちづくりについて</p> <p>① 城陽井手木津川バイパス「住民の命を守る防災道路」の早期完成を目指して、国・府への要望は勿論のこと、木津川市にぎわい拠点施設の構想は、将来の市の発展につながると私も思っています。拠点の規模・内容等は。</p> <p>② 上水道管の石綿管の更新は完了したのか。</p> <p>③ 循環型社会推進基金の一部を活用して雑がみ保管袋を新たに全戸配布されるが、残りの基金活用について市長の考えは。</p> <p>(7) 効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくりについて</p> <p>① 財源確保の点で、ふるさと納税の取組を今年度も実施されたが、成果見込みは。令和6年度の取組みは。</p>
質問事項： 保育サービスを目指す対策は十分か	
質問 要 旨	<p>家族形態の多様化や少子高齢化による労働人口の減少など、社会情勢の変化により、子育て家庭を取り巻く環境が変化していますが、木津川市は待機児童が本年も「ゼロ」と聞いています。共働き家族が増えて、保育ニーズが高まっている中、市の現状と取組等について、伺います。</p> <p>(1) 本年度から公立保育所2園を幼保連携型認定こども園に移行されますが現在の入園予定状況は。</p> <p>(2) 現時点における待機児童の実態は。また、隠れ待機児童数の実態と対策は。</p> <p>(3) 令和6年度待機児童の見込数は。</p> <p>(4) 5歳未満の家庭的保育事業等の運営実態と市の取組は。</p> <p>(5) 保護者の就労形態に見合った市の対策及び対応の考えは。</p>
質問事項： 準用河川の整備計画及び管理について	
質問 要 旨	<p>市が管理する準用河川は、42あります。維持管理面で除草作業や堆積した土砂の撤去等は、地域や土地改良区と行政が共助して実施されていますが、護岸等整備状況は進んでいるのかそこで、お尋ねします。</p> <p>(1) 準用河川の整備は進んでいるのか。</p> <p>(2) 農地を守る農振農用地内の未整備河川の整備状況は。</p> <p>(3) 今後の整備計画はあるのか。</p> <p>(4) 今年度実施されていない重機等による土砂撤去は、今年度の出水期まで実施されるのか。実施される準用河川は。</p> <p>(5) 国・府管理河川の要望事項の工事は実施されたのか。</p>

質問事項： 地域要望と処理について	
質問要旨	<p>地域自治会や各種団体等からの要望や苦情が多々あると思います。行政側として予算の範囲内で積極的に取り組まれていると考えていますが、その執行状況についてお尋ねします。</p> <p>(1) 本年度要望件数と処理件数について伺う。</p> <p>(2) 未解決の要望について、6年度予算に反映されているのか。</p> <p>(3) 緊急性を要する要望の対策は、本年度完了見込みか。また、その主な内容は。</p>

3 日本共産党木津川市議員団 宮嶋 良造

質問事項： 防災計画を見直し、市民のいのちと安全を守る木津川市に

質問要旨	<p>1 能登半島地震の状況や教訓を基に、大地震に対する緊急対策と同時に市防災計画（第2編第9章地震被害の想定、第20章防災拠点整備計画、第3編 災害応急対策計画 第8章避難対策計画など）の見直しを行うべきではないですか。</p> <p>2 見直しの中で、避難所の設定や避難所備品の見直しと充実を行うべきではないですか。特に社会的弱者と言われる市民のいのちと安全を守るために、安全な場所への避難と速やかな広域避難（2次避難）などの見直しが必要ではないですか。</p>
------	---

質問事項： 市民の移動を保障する公共交通体系を

質問要旨	<p>1 市総合計画後期基本計画(案)が提案されていますが、福祉の視点を持って、市民の移動を保障する公共交通体系をどうつくりですか。</p> <p>2 特にバス交通を守るために、新たな施策をどのようなテンポで議会や市民とつくり上げますか。</p>
------	---

質問事項： 市民の暮らしと生業を支える木津川市に

質問要旨	<p>1 市民の暮らしと業者の生業を支えるために、地域循環型経済をめざすべきではないですか。</p> <p>2 耐震補強、バリアフリーなどの住宅リフォーム助成制度をつくってはどうか。</p> <p>3 物価高から市民生活を守るために、市民負担の軽減をはかるべきではないですか。</p> <p>(1) 子ども（18歳まで）の国保税（均等割）をゼロにする。</p> <p>(2) 学校給食費を無償にする。</p> <p>(3) コミュニティバスの運賃を高齢者や障がい者は無料にする。</p> <p>4 賃金を上げる木津川市にするために、会計年度任用職員の待遇改善を行うべきではないですか。</p> <p>5 国は公共工事設計労務単価を2012年度比で、53.5%（平均値）引き上げ、建設業団体にも賃上げ要請を行ってきました。しかし、現場労働者の賃金水準は、改善の傾向にあるものの、末端の労働者まで反映していない実態があります。公契約条例をつくるべきです。公共工事の契約条件を見直し、労務単価を引き上げてはどうか。</p>
------	--

質問事項： 環境を守る、ゼロカーボンシティ木津川市の実現へ

質問要旨	<p>有料ごみ袋に頼らないごみ減量をおこなうべきではないですか。</p> <p>(1) 家庭系可燃ごみの焼却費用を減らすためにも、古紙回収補助金を増やし、紙類の焼却を減らせませんか。</p> <p>(2) 生ごみは80%が水分といわれています。生ごみの水分を減らすために、「生ごみ水切り器」を安価で普及してはどうか。</p> <p>(3) 電気式も含め、家庭用生ごみ処理器への購入補助を拡充してはどうか。</p>
------	--

質問事項： 平和の尊さを伝える木津川市に

質問要旨	<p>市民の協力を得て、非核平和都市宣言の記念碑を市役所または市役所南公園につくってはどうか。</p>
------	---

令和6年第1回木津川市議会定例会  
代表質問通告書（2月28日）

1	公明党 柴田 はすみ
質問 要 旨	<p>質問事項： 施政方針について問う</p> <p>谷口市政がスタートして間もなく1年。市政運営の基本は健全財政の堅持とあらゆる世代の市民が住んでよかったと実感できるまちづくりを目指すと言われています。</p> <p>いよいよ河井市政を刷新して、谷口カラーを前面に押し出す施策を実現していくことが大変重要と考えます。</p> <p>「子どもや若者が将来に向けて希望が持てるまちづくり」「すべての方が住み慣れた地域で暮らせるまちづくり」というビジョンに向けて、先日、中学生や高校生、大学生・社会人と「若者会議」を実施され若い世代の考えなど聞かれました。また、誰一人取り残さない「地域包括ケアシステム」を構築することは、公明党としても力を入れて進めている施策の一つです。</p> <p>施政方針では、6年度の予算案とともに、7つの主要施策を示されました。その中から何点か具体的に市長の考えを聞きます。</p> <p>(1) 「ともに『学び』『喜び』『成長し』未来を生きるこどもを育むまちづくり」から</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 4月から公立保育園2園を幼保連携型認定こども園に移行されますが、これまでとの違いとメリット、デメリットは。</li><li>② こどもの遊び場の創出について、その内容は。</li><li>③ 4月開設予定の「こども家庭センター」の主な役割は。</li><li>④ 中学校体育館への空調設備と教育施設のLED化のための設計予算が計上されていますが、リース等も考えるのか。</li></ol> <p>(2) 「誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり」から</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 新規施策として、がん治療に伴う脱毛等の外見変化に起因する苦痛軽減策として、ピアランスケア支援事業が創設されていますが、具体的な内容は。</li><li>② 1か月児健診助成制度創設に至った経緯は。</li><li>③ 介護保険について、介護保険料は3年間据え置くことで、持続可能な保険制度の維持が掲げられている。 介護保険が使いたい時にすぐに使えないという声にどう対応するのか。</li><li>④ 重層的支援体制の強化に対応する福祉総合相談室の内容は。</li></ol> <p>(3) 「一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり」から</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 昨年12月議会で提案した「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」が導入されます。制度の詳しい内容は。</li></ol> <p>(4) 「快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり」から</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 過疎地域に指定された加茂地域に「地域おこし協力隊」の募集、大学生のフィールド活動の場として、現状の課題解決に向けた検討や、取組を進めるとあるが、例えばどういうことを想定しているか。</li><li>② 地球温暖化対策を市長がトップとして推進本部を立ち上げるとあるが、どう進めるのか。</li></ol>

2 改革木津川 高岡 伸行	
質問事項： 木津川市が選ばれる街へ	
質問 要 旨	<p>木津川市は、大阪市、京都市等都市部へのアクセスも良い住宅環境に加えて、緑の多い街ですが、教育分野において、木津川市だから学べるというような市独自の教育を行っていかねば、若い世代の転入にはつながらない。</p> <p>他の自治体と横並びでない木津川市ならではの価値を生み出さなければなりません。そうでなければ、民間で言う値下げ合戦、バラマキ合戦に陥る事になりかねません。</p> <p>また、シルバー世代が対象の施策においても、相談支援、介護支援を手厚くし、最後まで安心して暮らし続けられる街にする取組を続けていかねばなりません。</p> <p>自動車の免許証を返納され、自転車にも乗れない方たちが、安心して日常生活を送れるように、交通利便性向上、移動手段の確保が急務だと考えます。そこで以下の質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 魅力ある子育て環境づくりを進めていく観点から、他の自治体がない、本市ならではの価値を生み出し、訴求力を発揮しなければなりません。選ばれる街になるために何が必要であるとお考えかお尋ねします。</p> <p>(2) 1月18日、京都市内のホテルで全国から中学運動部の指導者の集いがありました。各都道府県の教育関係者約400人が参加された。将来、部活の運営を委ねる国の「地域移行」を踏まえ意見交換されたと聞いています。</p> <p>このことを踏まえ、本市ならではの独自の部活運営を検討し、世界で活躍できる子どもを育むべきと考えますが、ご見解をお尋ねします。</p> <p>(3) シルバー世代の孤立を防ぐため、利便性を向上した移動手段の確保が必要です。</p> <p>現在、コミュニティーバスの在り方が課題になっています。日常生活における買い物にお困りの高齢者、病院へ通うのにお困りの高齢者に寄り添った市民サービスの提供、利便性の高い移動手段の確保が必要であると考えますが、ご見解をお尋ねします。</p>
質問事項： 住民の命を守る防災道路を活かして	
質問 要 旨	<p>JR奈良線複線化事業と併せて、木津川市を、住み続けたい街、選ばれる街にするには、国道24号バイパス（城陽井手木津川バイパス）事業は、欠く事のできない事業であると考えます。この事業を最大限生かし、本市の人口減少を防ぐとともに、今後の市の発展につなげることが必要であると考えます。そこで質問させていただきます。</p> <p>新名神高速道路の全線開通を見据えた国道24号バイパス沿線の新たな街づくりを想定しますと、本事業をどのように活かし、木津川右岸側から木津川市全体へ経済効果、市の活性化につなげる考えかお尋ねします。</p>
質問事項： 資源、立地を活かし憩いの場を	
質問 要 旨	<p>観光施策として、お茶の京都DMOと連携し、古寺巡礼バス事業を展開されています。しかしながら、私は目標にされている数値ほど、観光客が来られているようには感じられません。そこで質問させていただきます。</p> <p>(1) 観光誘客を推進するには、発想の転換も必要であると考えます。市の木であり資源である桜をPRして、桜を活かして誘客する必要があると考えますが、ご見解をお尋ねします。</p> <p>(2) 緑化協会、商工会との連携も強化する必要があると考えます。桜を活用した憩いの場を提供して、市内の産業を育て、人を育てるイベントを開催するなどのまちづくりに取り組み、桜のまちとして市を大きくPRしてはとありますが、ご見解をお尋ねします。</p>

3 新風コスモスの会 福井 平和

質問事項： 令和6年度施政方針に基づく市政運営について

質  
問  
要  
旨

令和6年度を市長がどのような考えや方針で、市政を進めていくかを明らかにした谷口市長初の「施政方針」がこのほど示されたので、会派を代表して、以下の点について市長にお尋ねします。

- 1 昨年6月の所信表明、10月の令和6年度予算編成方針、この方針に基づく6年度当初予算案の編成までの取組を振り返り、市長として5年度の行財政運営の成果と課題を現時点でどのように総括されているのか。
- 2 6年度一般会計予算案の総括的事項として、
  - (1) 予算規模が330億3,100万円と令和4年度に次いで2番目の規模となった要因は。
  - (2) 災害など不測の事態や年度間の財源不足に備えるための財政調整基金並びに循環型社会推進基金など特定目的基金の活用と運用方針は。
  - (3) 物価高騰に伴う学校給食費等の公費負担の継続は、国や京都府の支援を前提としているのか。
  - (4) イメージする6年度末の経常収支比率など財政指標は。
- 3 6年度一般会計予算案の主要施策の中から、
  - (1) 最優先事項として重点的に推進する防災・減災対策事業
    - ① 避難所の衛生環境の向上のために導入する自走式トイレカーの活用計画は。
    - ② 教育環境の充実と併せ、避難所環境を向上させるための中学校体育館の空調整備の様子は。また、小学校体育館の整備計画は。
  - (2) こども施策の総合的な推進の観点から、
    - ① 平成27年4月より子ども子育て支援新制度が施行されているが、本市における認定こども園の評価と課題は。
    - ② こども家庭庁が令和8年度に全国でスタートする「こども誰でも通園制度」の試行的事業の取組計画は。
    - ③ こども家庭庁では保育士の配置基準を見直そうとしているが、これを受けての本市の考えは。
    - ④ 4月から「こども家庭センター」を設置されるが、こどものあらゆる相談窓口として、AI（人工知能）がチャット形式で子育てに関する質問に24時間答えるサービスの導入計画は。
    - ⑤ 4年度から実施している「あそびでつながるプレイフルパーク」は、利用者より高い評価を受けている。その上で、国・京都府の補助金を活用した継続的な開催及び常設型のアソビの広場の整備の考えは。
  - (3) ひとり暮らしの老人・高齢者世帯への支援策として、木津川市社会福祉協議会と連携したイベントの取組が示されているが、連携する具体的な内容は。
  - (4) 地域コミュニティ活動の活性化策として、既設の地域活動支援交付金と集会所整備事業補助金の制度拡充の方針が示されているが、現制度の課題と拡充に向けた具体的な見直し項目は。
  - (5) 過疎地域に指定されている加茂地域を対象に、「地域おこし協力隊」の配置及び大学生のフィールド活動の場を提供して地域課題の解消を目指す方針であるが、これら取組の導入経緯と期待する効果は。
- 4 改正組織条例が4月1日から施行される。改正理由は、多様化する行政課題に迅速に対応し、高い市民サービスを提供する組織機構を構築するためとなっている。施政方針に掲げられた施策の効果的な推進と効率的な予算執行という面で、新組織機構に求めるものは。